

平成31年度予算

「希望ある輝くまち高山」の実現に

総額756億円

2月26日から開会した平成31年第1回市議会定例会において、一般会計468億円、特別会計・企業会計288億円余の平成31年度予算案を可決しました

問 議員からの質疑
答 市の答弁

魅力と活力
あふれるまち

1) 産業・労働分野

新規	宮川人道橋周辺の賑わい創出にかかる整備	4,240万円
拡充	販路開拓や商品開発への支援	270万円
	高山駅周辺における防疫対策及び畜舎防疫設備の整備に対する助成	630万円
継続	中小企業が行う事業所内保育施設運営費等に対する助成	1,100万円

問 若者定住促進事業の適用される年齢要件が35歳で線引きされている。近年の晩婚化の現状において、枠を拡充する取り組みがあってもよいと思われるが、市の考えは。

答 高山への転職や子育てをしながら移住いただくように、将来を担っていただける若者という観点から35歳以下としている。



2) 環境・景観分野

新規	水素自動車（燃料電池）の導入	—
継続	飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金	1,450万円
	未利用間伐材の搬出促進	440万円
	地域団体の自然エネルギー活用支援	2,440万円

問 飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金による協議会運営ではほとんどが人件費であり普及啓発費や事業費にあまり充てられない状況にある。事業推進が図られているといえるのか。

答 ジオパークの認定に向けて精度を高める必要があり、まずは機運づくりからはじめ、詳細を積み上げていく。地道な活動継続による普及啓発に取り組む。



双六溪谷 材木岩

環境と調和した
地球にやさしいまち